

(1) 重点的努力目標

主題 **相手を思いやり、分かり合うことができる子**
 ～友達と協力して、活動しよう～

本校では、基礎・基本の定着のために、教材開発や、TT・個別指導等の指導方法の工夫に継続的な努力をしてきている。昨年度から「コミュニケーション能力の向上」に重点を置いた実践に取り組み、様々な場面におけるペア・グループ活動によって子ども同士の学び合いを取り入れることで活動への自信をもたせ、「自己肯定感の高まり」を感じられるようにしてきた。

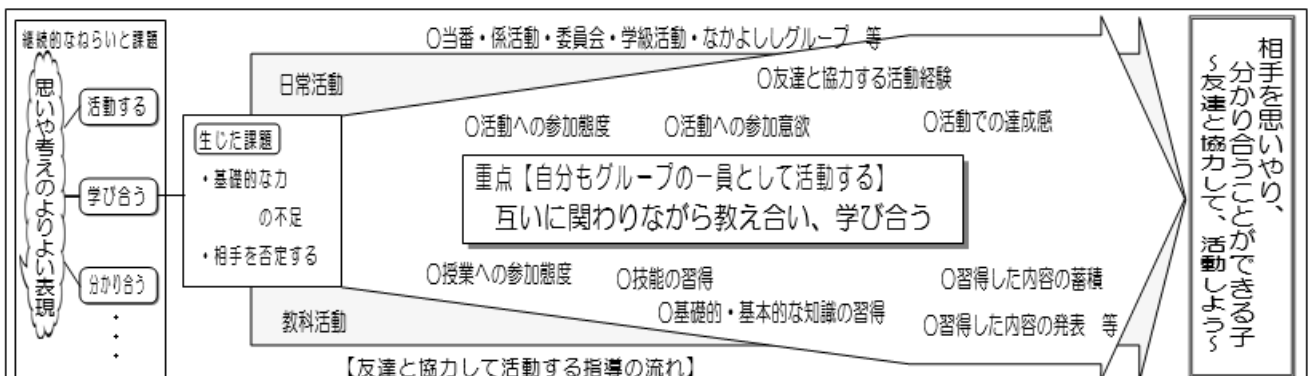
こうした取り組みの中、子どもたちの学習意欲が向上したり、「分かった」という学ぶ喜びを味わったりするためには、「子ども同士の意見の交流」「考え方の共有」など、子ども同士のやりとりが大切なことが分かってきた。また、互いの思いを伝え合い、相手と気持ちを通わせながら協力していくことは、子どもたち同士のよりよい関係づくりにもつながると考える。

本年度も「相手を思いやり、分かり合うことができる子」をテーマとして実践に取り組んでいく。ペアやグループで活動することを中心に、「友だちと協力して、活動する」ことを通して、自分が所属することの意義や必要とされていることを感じさせる。そして、相手の思いを受け取ろうとする気持ちを育てていく。

また、昨年度同様に実践の成果を家庭へと情報発信するとともに、学校評価アンケートの項目として意見集約し、家庭との連携の方法を工夫して進めていく。

具体的には、次のような内容や指導の場で、実践を進めていきたい。

① 具体的な内容と実践イメージ



② 実践の場

ア 業前（火・木・金）と学級朝の会（毎日）

8：25～8：35 朝学・読書タイム、8：35～8：40 学級朝の会

イ 各教科の授業

ウ 日常指導

③ 年間計画

月	主 な 内 容			
4	研究計画	実態把握	低・中・高部会のテーマ設定	
5	教材検討	調査分析	実践計画発表会（低・中・高部会の実践計画書）	
6	研究授業指導案検討	授業研究	事後検討	
7	各部会の実践計画の見直しと修正			
8	1学期のまとめ2学期以降の実践計画		教材検討	
9	2学期の実践状況についての共通理解			
10	中間報告会（低・中・高部会の中間報告書）			
11	各部会の実践計画検討	研究授業指導案検討	授業研究	事後検討
12	2学期のまとめ		教材検討	
1	最終報告書の検討			
2	学習発表会	最終報告会（低・中・高部会の最終報告書）		1年間のまとめ
3	次年度へ向けて			

(2) 継続的な努力目標

本校では、人権教育を基盤としたふれあい活動に取り組んできた。本年度も継続的な努力目標として設定し実践を進める。生活科や総合的な学習での福祉や国際理解、集会活動や学校行事等の中で、人とふれあう体験を重視した実践を進め「命を大切にし、ともに生きようとする子」を目指していきたい。

	低学年	中学年	高学年
身に付けさせたい力	体験活動を多く取り入れ、主体的に学習する基盤を身に付ける。	自分の課題をもち、見通しをもって追究する能力を身に付ける。	追究したことを表現する能力を身に付ける。
育てたい心	身の回りの人や自然とふれあうことの大切さに気付く。 なかよく	身の回りの人や自然と積極的にかかわろうとする。 相手の気持ちを考えて	相手のことを認め、自分ができることをしようとする。 ちがいを認めて

・年間計画

月	主 な 行 事
4	1年生を迎える会 なかよし遠足
5	環境学習ウィークの計画 運動会
6	クリーンウォーク
7	夏まつり集会
9	あいさつ運動
10	人権学習授業参観 学校開放週間（ふれあいフェスタ）
11	学芸会 あいさつ運動
12	敬老年賀状の取り組み 人権週間の取り組み
1	あいさつ運動
2	学年末授業参観
3	感謝の会 6年生を送る会

・年間を通じた実践 みんなのつどい、なかよしグループの活動、生活科、総合的な学習の実践

(3) 推進組織

